

【資料 2-16】「研究を他者に語る」実施アンケート

研究を他者に語る

総合人間学部では、各学生が、自身とは異なる学問分野を専門とする教員に向かって、研究内容を発表する「研究を他者に語る」と題した取組みを行っています。自分が取り組んでいる研究の内容を異分野の教員に対して「説得的に」語ることで、学術の知とその意義を専門外の人にわかりやすく語るコミュニケーション能力を身につけるとともに、自分の研究を相対化し客観視することで、多様かつ総合的な視点で物事を観る能力を培うことを目指します。

学生へのアンケート

		2019 (R1)	2020 (R2)
	回答数	40	88
この試みはあなたにとって意義あるものでしたか	1. そう思わない	7.5	8.0
	2. ややそう思わない	15.0	5.7
	3. どちらでもない	10.0	14.8
	4. ややそう思う	40.0	40.9
	5. そう思う	27.5	30.7

		2021 (R2)
	全体	144
	回答数	61
	回答率	42.4%
「研究を他者に語る」についてどう思いましたか。	1. とても有意義に感じた	21.3
	2. 有意義に感じた	52.5
	3. ふつう	23.0
	4. あまり有意義に感じなかった	3.3

聞き役教員へのアンケート

		2019 (R1)	2020 (R2)
	回答数	87	73
この試み自体は意義あるものでしたか	1. そう思わない	1.1	2.7
	2. ややそう思わない	3.4	0.0
	3. どちらでもない	11.5	12.3
	4. ややそう思う	31.0	35.6
	5. そう思う	51.7	49.3
	無回答	1.1	0.0

		2021 (R2)
	全体	134
	回答数	72
	回答率	53.7%
「研究を他者に語る」についてどう思いましたか。	1. とても有意義に感じた	34.7
	2. 有意義に感じた	52.8
	3. ふつう	8.3
	4. あまり有意義に感じなかった	4.2

【資料 2-17】 修業年限内卒業率と「標準修業年限×1.5」年内卒業率（総合人間学部）

入学年度	入学者数	標準修業年限内卒業率					「標準修業年限×1.5」年内卒業率						
		修業年限内他学部からの転入者	修業年限内他学部からの転入者	修業年限が4年とは異なる者(3年次編入学者)	修業年限内卒業者		卒業率	5年で卒業した者		6年で卒業した者		卒業者	卒業率
					卒業年度	卒業者数		卒業年度	卒業者数	卒業年度	卒業者数		
2012 (H24)	127	1	5		2015 (H27)	84	64.1%	2016 (H28)	32	2017 (H29)	5	121	92.4%
2013 (H25)	125	2	7	1	2016 (H28)	89	67.9%	2017 (H29)	25	2018 (H30)	4	118	90.8%
2014 (H26)	124	2	9		2017 (H29)	84	64.1%	2018 (H30)	33	2019 (R1)	5	122	93.1%
2015 (H27)	125	0	8		2018 (H30)	98	73.7%	2019 (R1)	24	2020 (R2)	3	125	94.0%
2016 (H28)	119	0	6		2019 (R1)	91	72.8%	2020 (R2)	20	2021 (R3)	8	119	95.2%
2017 (H29)	120	0	9		2020 (R2)	71	55.0%	2021 (R3)	32	2022 (R4)	8	111	86.0%
2018 (H30)	118	1	6		2021 (R3)	98	79.7%	2022 (R4)	23	2023 (R5)		121	98.4%
2019 (R1)	126				2022 (R4)	87	69.0%	2023 (R5)		2024 (R6)			0.0%

・当該年度より後に入学した者のうち、修業年限が4年とは異なる者（例：3年次編入してきた者）、転学部してきた者は含まれ、他学部へ転出した者は除く